

平成24年11月8日

都内私立中学高等学校
校 長
国語科教諭 殿
社会科教諭
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会

会 長 近藤 彰 郎
東京私学教育研究所所長 清水 哲 雄
文系教科研究会委員長 畑 澤 正 一
(共催：公益財団法人東京私学財団)

文系教科研究会（国語）「講演会」のご案内 「学校という『場』とは何か—3.11以降が問うているものを踏まえて—」

平成24年度文系教科研究会（国語）第1回「講演会」のご案内を致します。

今回は、講師に哲学者の内山節先生をお迎えし、ご講演いただくこととなりました。

昨今、教育現場で教科書を開いてみると、「余暇について」（三省堂「高等学校 国語総合」）・「ブナの森で」（教育出版「国語総合」）・「この村が日本で一番」（第一学習社「高等学校・現代文」）など、至る所で内山先生の文章と出会います。また、著書『時間についての十二章』が、現代文の問題や小論文の課題として、相当数の大学入試に取り上げられたことは記憶に新しいところです。

その内山節先生は、最近の著書『文明の災禍』や『ローカリズム原論』において、3.11後の社会や人間について、大変唆々に富んだことを述べられています。今回の講演では、「3.11後の時代を生きる我々は、教育現場において、どのようなことを考え、伝えていくべきなのか」ということをテーマにお話し頂くことになりました。

哲学における日本の第一人者のお話を聴くことができる貴重な機会です。校務多忙の時期とは存じますが、万障お繰り合わせの上、奮って参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成24年12月6日（木） 18：30～20：30
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館） 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921（代）
※ 裏面案内図をご参照ください。
3. 演 題 「学校という『場』とは何か—3.11以降が問うているものを踏まえて—」
4. 講 師 哲学者 内山 節（うちやまたかし）先生
【プロフィール】
1950年、東京生まれ。1970年代から東京と群馬県上野村を往復して暮らす。
NPO法人森づくりフォーラム代表理事。情報誌『かがり火』編集長。
東北農家の会、九州農家の会などで講師を務める。
2010年4月より、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授。
5. 参加費 無 料（当協会会員各校の拠出金と東京都私学財団からの補助金で運営されております）
6. 定 員 80名（申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります）

7. 運営委員 下山 大介 (駒場東邦中学校・高等学校)

8. 申込方法 11月30日(金)までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4階

東京私学教育研究所 文系教科研究会 (国語) 担当: 松田・横山

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■ 交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

文系教科研究会 (国語) 「講演会」参加申込書

[12月6日(木)実施]

学校名	氏名
ご質問 など	

上記の通り参加申込いたします。

東京私学教育研究所 御中

平成24年 月 日

学校長 Ⓜ

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略致します。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です) 申込確認が必要な方は、下記にご記入下さい。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------